

# つくば市記者会 御中

発信日：令和2年（2020年）8月7日（金）

発信元：つくば市政策イノベーション部科学技術振興課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

## 国土交通省スマートシティモデルプロジェクトにおける令和2年度の支援対象に選定されました

位置情報、自動運転車、パーソナルモビリティを活用した実証実験を実施します

つくば市では、行政サービス、防災、医療・介護、インフラといった、地域が抱える幅広い分野の課題を、AI、IoT、ロボット等の先端技術を活用することで解決し、誰もが安全、便利で快適に暮らせる街づくりにつながるスマートシティの取組を推進しています。

こうした中、つくば市、茨城県、筑波大学、民間企業等で構成する「つくばスマートシティ協議会」は、令和元年度に国土交通省より、全国の牽引役となる先駆的な取組を行う「先行モデルプロジェクト」に選定され、顔認証によるバスの乗車等の実証実験に取り組んでまいりましたが、このたび、昨年度に引き続き、国土交通省スマートシティモデルプロジェクトにおける令和2年度の支援対象に選定されることが決定しました。（7月31日付け 国土交通省発表）

これを受け、今年度新たにモビリティ分野の実証実験を下記のとおり実施します。

### 1 実証実験の内容

位置情報を活用した出発地・目的地間の移動総量、交通手段別の移動量を分析・把握した上で、公共交通などの代替移動手段が少ないエリアを走行ルートとして設定し、自動運転車による拠点間（例：家→駅）移動と到着後の低速型パーソナルモビリティによるラストワンマイル移動を連結させた走行実証実験を実施

### 2 事業主体

つくばスマートシティ協議会

### 3 走行実験の実施時期

2020年11月以降を予定（決定次第公表）

